



Vol. 4

ギカイホウコク

12

DEC 2020

大阪 vs 京都 あなたが選ぶ 2020年の 勝者と敗者



特集 追跡コロナ対策 & 11月議会

「都構想」、二度目も僅差で否決 京都市が進むべき道とは

すがや浩平

京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....
.....
.....
.....

日本維新の会への入党を希望する。 選挙(立候補)に興味がある。 ポスター掲示を許可する。

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	Fax 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。



日本維新の会 党員・候補者募集

日本維新の会では、党の綱領にご賛同いただき入党してくださる方と立候補者を募集しています。入党には年額2千円の党費と審査が、立候補には公募申請がそれぞれ必要となります。詳しくは「京都維新の会」ウェブサイトにてご確認ください。 <http://kyoto-ishin.jp/>



▲ポスター(A2サイズ)

毎月第2土曜日に議会報告会を行なっています。

私、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しております。是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。皆さまからのご意見・ご要望をお待ちしております。

[日時] 毎月第2土曜日夕方5時～6時 [場所] 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力のお願 (ポスターサイズ タテ594mm×ヨコ420mm)

「菅谷浩平 議会報告会」のポスター設置場所の提供にご協力いただける方を募集しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章の無断転載、借用、複製は禁じられています。

追跡コロナ対策&11月議会

01 検査体制

厚労省も方針転換 かかりつけ医に相談へ

新型コロナウイルスの検査が、11月から各地の診療所などで受けられるように体制が改められたことをご存知だろうか。検査を受けられる医療機関は、11月の時点で全国に約2万か所以上ある。京都府内でも約500の医療機関が指定を受けているが、府は風評被害を恐れて公表をしていない。まずはかかりつけ医などに電話相談をし、府の指定を受けていないければ、検査を受けられる別の医療機関を紹介してもらえ。

かかりつけ医がない・夜間や休日どこに相談していいかわからないといった場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」(075・414・5487)までお問い合わせください。

02 病床数・専用病床

京都にはできない!? コロナ専用病床

京都府内の新型コロナ患者向け病床数は、年内に750床を確保する見通し。病床使用率は感染者が増え始めた11月以降も10%台から20%台前半を推移しており、直ちにひっ迫するような状況にはないが、冬に懸念されるインフルエンザとの同時流行などで感染が急拡大すれば、医療体制が追いつかなくなる可能性もある。

そんななか、近隣の自治体は夏からコロナ専用病床の建設に着手。神戸市は11月に全国で初めて全床が重症患者対応の専用病床を市立病院の駐車場敷地内に完成させた。大阪府も「大阪コロナ重症センター」を建設し、12月中旬から運用開始予定。残念ながら京都府に同様の動きは見られない。

03 PCR検査

最低限の目標はクリア 京大病院と協定を締結

京都府内における一日あたりのPCR検査数は、年内に目標だった1500件に到達する見通し。さらに大規模な集団感染が発生した場合、一日あたり最大900件の検査能力を有する京都大学医学部付属病院に検査協力を依頼できるよう、市は包括連携協定を結んだ。9月号で提言していた内容が一部実現することとなった。



懇談会でコロナ対応を話し合う西脇京都府知事と門川京都市長

04 京都市11月議会

今年最後となる議会 コロナ対策など審議

京都市11月議会が11月25日に開会し(会期は12月10日までの16日間)、北区の大宮交通公園の再整備に関する条例の改正案や2050年までに市内における二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す地球温暖化対策条例の改正案のほか、新型コロナウイルス対策費を含む一般会計補正予算案など計42議案が提出された。

一般会計補正予算のうち、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策などの主な事業は以下の通り。▽事業者への換気・加湿設備導入の費用補助 6千万円▽学校の消毒を専門業者に委託する事業 4千万円▽平日にGoToトラベルを利用した宿泊客にクーポンを配る事業 9千万円

「都構想」、二度目も僅差で否決 京都市が進むべき道とは

全国初の総合区設置なるか? 特別自治市とは?

政令市である大阪市を廃止して、4つの特別区に再編する大阪都構想の住民投票が11月1日におこなわれ、反対(50・63%)が賛成(49・37%)を約1万7千票上回り否決された。

その後、住民投票の結果を受けて大阪市の松井市長は、市を残したままで区の権限を強化する総合区設置の条例案を来年2月の市議会に提案する考えを明らかにした。総合区の導入が議会で可決されれば、全国初となる。わたしも2016年の京都市2月議会でも、総合区の導入を市に提案したが、

門川京都市長は当時、既に区長には十分な権限と財源が与えられており、総合区導入のメリットはないと断言している。

一方、住民投票から4日経った11月5日、政令市の市長でつく



住民投票を終えて記者会見する吉村大阪府知事と松井大阪市長

る指定都市市長会が「特別自治市」を念頭に多様な大都市制度の法整備を求める提言をまとめた。この聞き慣れない「特別自治市」構想とは、都構想が政令市を廃止して司令塔を一本化するのに対し、政令市を道府県から独立させてすべての事務を担わせるものだ。門川京都市長もかねてより特別自治市を目指すと言っているが、京都府や府内の市町村が京都市の独立を簡単には認めないだろう。

京都市議会議員・北区
菅谷 浩平 (34)
すがやこうへい



所属政党/日本維新の会
党の役職/京都府総支部幹事長
地域活動/消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記 Editor's note

京都市が誕生したのは明治22年(1889年)のことだが、市制特例により、東京、大阪、京都は市長を置くことが許されなかった。9年後の明治31年に市制特例は廃止され、東京、大阪、京都でも市長が選任されるようになった。その後、昭和18年(1944年)に、東京府と東京市は廃止され東京都となり、4年後の昭和22年の地方自治法の成立により、現在の東京都23特別区が発足をした。東京では50年以上掛かったものを、大阪では僅か10年で実現させようとしたことになる。賛否両論はあるものの、今回の住民投票が地方自治のあり方に一石を投じたことは言うまでもないだろう。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所
〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1
Tel 075-493-6564
Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

